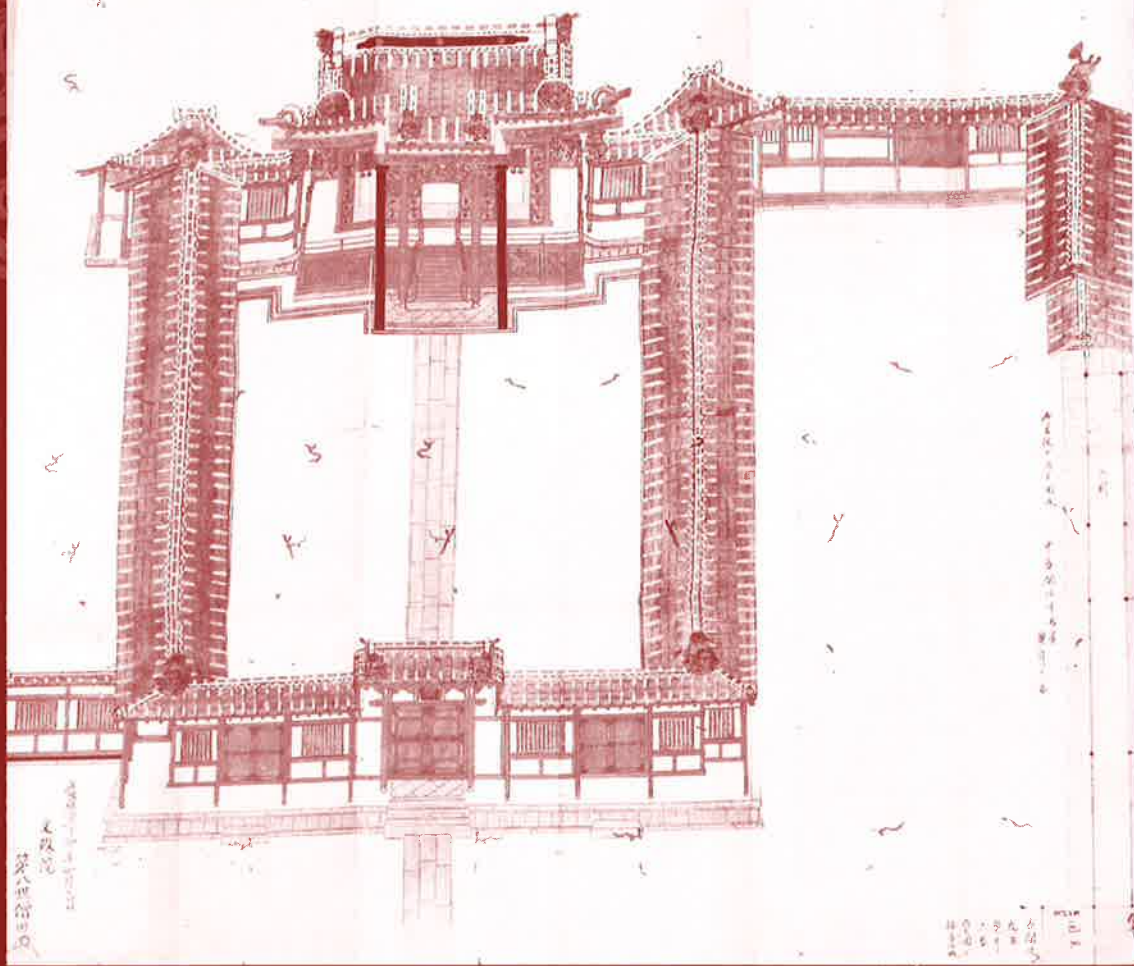


文殊院本堂焼失前見取図



〈平成24年度

企画展Ⅱ〉

徳川御三卿田安家の祈願寺

文殊院寺宝展

[開催期間]

平成25年2月3日(日)～
3月3日(日)

[会場]

羽生市立図書館・郷土資料館展示室

[開館時間] 午前9:00～午後5:00

[休館日] 毎週火曜日・2月28日(木)

[入館料] 無料

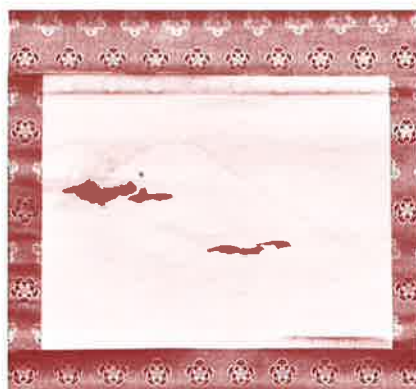
[主催] 羽生市立郷土資料館



香炉



文殊菩薩



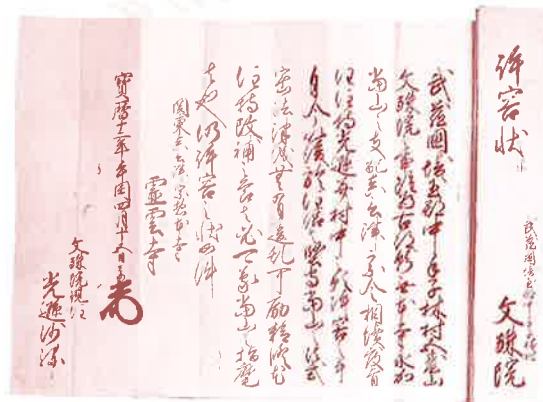
富士画



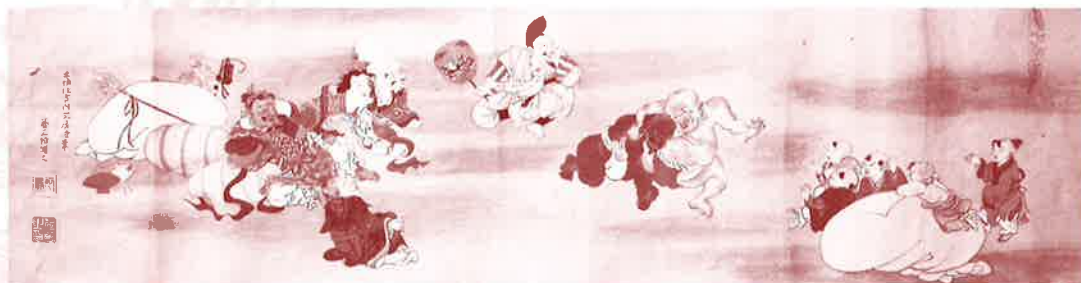
末広扇子



靈麟大和尚



許容状



百布袋



文殊院と田安德川家

田安德川家は、享保16年(1731)に徳川吉宗の二男宗武が、江戸城田安門内に屋敷を与えられ創設されました。一橋徳川家と清水徳川家と並び御三卿と称されています。

文殊院と田安德川家との関わりは、靈麟和尚が東京湯島の靈雲寺と文殊院の住職を兼務したとき、田安德川家から祈願を申し付けられ、同家の祈願寺となったことに始まると言われています。

荘厳さを誇った文殊院でしたが、幕末に起こった打ちこわしによって、本堂や多くの寺宝が焼失してしまいました。しかし、かろうじて焼失を免れた寺宝は、田安德川家とのゆかりを今に伝え大切に守られています。



文殊院 (羽生市中手子林)